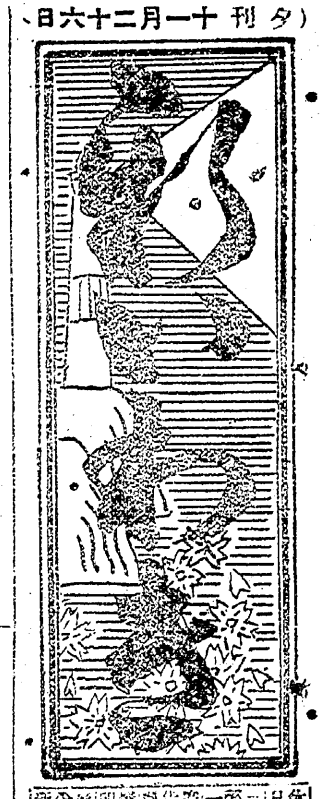
(夕刊 十一月二十六日)



休日 毎月曜日 大祭日 整理
一ケ月 廿五錢
郵税 十五錢
一部 二錢
旋行 一行 四〇錢
広告料 紙面 指定 廿
發行所 平南町廿 福島縣
印刷人 平谷政彦
發行兼編輯人 平谷政彦
新いわき新聞社

村民多數調印して
村議總辭職を勧告
赤井村長問題更に事態悪化

紛糾をつゞけた赤井村長問題は昨報の如く畑選いの福島炭礦々長菊地德太郎氏が當選し一段落を告げた形となつたが菊地氏の村長就任を快しとせざる多數の村民は單なる技術家として一炭礦の礦長に過ぎず村政自治運用上の手腕をも辨へぬ菊地氏の如きを如何なる事情あるにもせよ村長に擧ぐる村會議員には信を置くこと能はずとなし昨日來村議總辭職勧告の決議文をつきつけることゝなりこゝに一先づ一段落を告げたかに見られた村長問題は更に事態悪化の形勢となつた

審査の打合せ會
今日平町で

綿農務課主催の優良農具共同利用實演會は別項所報の如く明二十七日平町に開催されるが右に關する審査その他に就て今二十六日午前九時から同町公共團體事務所樓上で審査員の打合せがあつた

有志は
村民の調印を求めて村議總辭職勧告の決議文をつきつけることゝなりこゝに一先づ一段落を告げたかに見られた村長問題は更に事態悪化の形勢となつた

バットを二百箇
看護婦さんの慰問

平町磐城共濟病院の看護婦さん達は各々醵金してゴールデンバット二百箇を滿州兵士に贈るとゝ熱辯と涙ら目のあたりに見るが如きシベリア出征當時の實戰談に心を動かされ遂く朔北の地に轉戰國務に仕じてゐる多門第二師團長平田廿九聯隊長、若松騎兵二聯隊長に對し町當なる慰問の電報を全會衆の名によつて發した、尚當日の講演會入場料の純益金は之を全部慰問品に換へて在滿將士に贈る筈である

千人縫胴卷を
滿州兵へ贈る

平町撥拂小路イワキヤ便利店こと齊藤茂三郎は滿州兵慰問品として彈丸除けの裏絹製胴卷千人縫を送ることゝなつた

社長殿檢束さる

平町研町磐城經濟新報社長鈴木昌雄(三九)は廿五日午後九時ごろ三丁目カフエーバッカスで泥酔暴行を働き平署員に檢束さる

▲夏井青訓査閲　夏井村青年訓練所生の秋季檢閲は廿八日午前九時から同村小學校庭で執行されるが終了後午後一時から縣囑託宮尾平佐の軍事講演會があると

縣主催の優良農具
共同利用の實演會
明二十七日平町大町の
若松病院前廣場に於て

地方産米の販賣が叺入のザラ取引から全國的の俵米取引に移つたので近年調製及び俵裝等に著しき進歩を見せて來たが尚ほ一段の普及發達を圖る爲め縣主催を以て優良農具の

共同利用實演會

を催されることは既報の如く在三郡の同會は愈よ明二十七日午前七時から平町字大町若松病院前廣場に於て行はれる出場選手は十五名で農具の改良をも含まれる

同競技

は叺俵より玄米の調製並に俵裝に至るまで機械の据付と出演抽籤を終る午前九時頃から實技を開始する模樣で審査員は左記の如く果して誰の手に優賞を獲得されるか見ものであらう

△審査長縣農務課廣瀬技師、審査員稲田縣農試石城分場長、同矢ヶ崎技手、縣農試本場長澤技手、縣穀檢成島技手、縣農會加藤技手、橋本石城駐在農林技手、石城郡農青山技師、同柴田技手、穀檢平支所長木名瀬技手、外所員八名(以上)

偽銀貨現はる
好間の活動小屋
テケツから

内郷村大字宮字蛭子磐城劇場主惠系猪三郎は去る廿二日好間村好樂館に巡業の際入場料金の中から五十錢の偽造銀貨一枚を發見平署へ届け出づ

女給危ふく
賣飛ばさる
浪江で命拾ひ

楊本町品川白煉瓦工場職工双葉郡新山町生れ前科二犯川原義正(三三)はかねて馴染の平町材木町カフエー共良久方女給磐崎村大字西郷生れ佐藤次女坂井まさ(一九)を甘言を以て籠絡し酌婦に賣り飛ばす目的で廿四日午後一時ごろ巧みに連れ出し双葉郡浪江署員に捕はれ今廿六日平署へ引取方の通牒があつた

二倉橋請負落札

平町正内町三倉橋架け替への請負入札は廿四日平町役場で行つたが五百四十四圓で平町色川勝三郎氏に落札した

けさ南町飲食店で
白晝の殺人
女將危ふい所死を免がれ
犯人は直ちにたい捕さる

廿六日午前九時半ごろ平町南町飲食店佐藤屋女將佐藤さつ(五五)が血相を變へて寒卷のまゝ戸外に飛び出し人殺しと叫んで向ひ側の小川屋へ駆け込んだので

急報に

より平署から署員數名が急行事情をきくと前夜十時頃から佐藤屋に登樓して十圓餘の遊興をなし宿泊した同町鍛冶町廿八三國屋印刷所吉太郎四男高野四郎(三六)が

支拂の

金に窮して押問答の末、矢庭にさつの上に馬乗りとなり抜帶及手拭を以て絞殺せんとしたものを漸く隙を逃れて前記の次第と判明四郎は佐藤屋の

女部屋

押入れに匿れてゐた所を難なく逮捕本署に連行して目下取調べ中であるが同人は性來不良性を帶び酒亂の癖があり尚兇行當時前夜買入れたと覺しき新しいハンマーを所持してゐた

十八圓を盗む

内郷の鼠賊御用

内郷村大字宮居住東京府北豐島郡尾久町上尾久生れ吉田忠男(三五)は廿二日午後二時ごろ同村瀧川松治方留守宅に忍び入り現金十八圓外衣類十數点を窃取したこと發覺廿五日平署に檢擧さる

踏倒して逃走
宿屋荒し常習

平町白銀町松崎屋旅館こと松崎吉二郎方へ數日前茨城縣磯原町呉服商小林實(三四)と稱して宿泊料五圓餘を踏み倒して逃走した者あるので平署で各署へ照會した捜索中である

大工道具盗まる

平町六丁目一番地綠川太次郎方普請場に置いてあつたグラ〳〵したり足が摺り切れる程お百度を踏んで漸く金五圓也の嘆願が成就したことなどである

俳句
喜久の薫り (十)
滿壽莊主人

なにとなく植しが菊の白きかな　巴丈

春菊の根分をして植へる時に何の種類ともわきまへず只植えて置いたのが平咲いて見れば思ひもかけず氣高い白菊であつたわいと云ふので

菊の名は忘れたれども植にけり　生林

と云ふ春の部の句の後篇とも見るべき何であります

白菊のちらぬぞ少し口をしき　昌碧

やゝ理屈くさい句でありますが古歌に

なごりなく散るぞめでたきさくら花　ありて世の中はてのうければ

とあります其こゝろを酌んであれほど氣高く咲いた白菊も櫻の如くいさぎよく散つて仕舞はなんだばかりに此樣に汚ならしく朽ち萎んで見る影もなくなつたのは少し口をしいなぜ早く散つて仕舞はなかつたのか

かはらけの手ぎは見せばや菊の花　其角

此句には左の前書がついて居ます

憎まれ口

成功とはどんなことかそれは精神一到何事かならざらんの努力奮闘を以て望みのものをかち得たことだ、惚れた女を口説き落せたこと、死ぬの逃げるのと人騒がせをやつたお蔭で晴れて夫婦になるこの出來たこと、散々通ひ詰め執拗くつき纏つた結果思ふ女と妥協成立したこと、振られても彈かれても不義理の借金を山と積み二進も三進も首が廻らなくなつ頃辛つとのことで落城せしめ閻魔の向ふ側へ座らせヤニ下つてゐることが因來る樣になつたこと、十年一日の如く精勵格勤した日給勤めの腰辨が年久しく生活難に虐待された効空しからず辛つと月給に昇格したこと、日頃の不景氣と遣繰算が盡き果てゝ最後のドンヅマリの金策に叩頭百萬遍を繰り返し頭

水田裏作の蔬菜栽培（二）

本縣農試石城分場　矢ケ崎技手

次に管理であるが中耕土寄せは追肥の際に行ふのであるが土は良く粉碎し傷かに畦の内部に鋤込む樣に行ふのである、中耕の際に注意すべきことは餘り深目に行はないやうにすることで深きに過ぎると根部の發育を不良にするものである、

除草は雜草の發生と共に適宜に行はなければならない

收穫は五月中旬頃から五月下旬頃までに隨意に行ふのであるが最初は間引の程度にて隨意に行ひ販賣に供するのである、收量は藥付のまゝにて反當六百貫内外である、當石城分場に於ける試驗成績を記せば左の如くである

品種寄居蕪菁昭和二年度七五〇貫、同三年度四八五貫三四〇匁、同五年度四五八貫三四〇匁、三ヶ年平均五六四貫四四七匁

（終り）

疾病の最新藥

美神淋藥　一週分四・五〇　二週分八・〇〇

平町　代理店　山野邊藥局

大ウリダシ

十一月末日マデ

スベテ赤字時代ノ新安値デス

中ニモコノ際デナクテハオ願ヒ出來ナイ樣ナ超特價品ガ十數点ゴザイマス

たびメリヤスみやこ等々ノ御買上ハゼヒ只今

モリタヤ洋品店　5丁目　電353

赤玉印フトン袋

類似品有赤玉印に御注意を願ます

松印　夜具五枚入　二圓七十錢

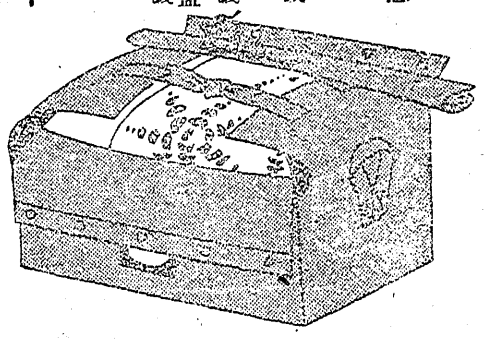
竹印　夜具二流入　三圓二十錢

梅印　夜具五枚入三重蓋バンド付四圓五十錢

▽常は布團の御保存に

▽旅行にはトランクの代用

▽非常の時には非常袋に



！各種陳列目下賣出し中！

特販約賣店　本ゑほん（平三丁目　電三五九）

服んで良くきく（絶對に胃腸を害さぬ）

淋病と消渇の特効藥　濟淋

平町一丁目　本舗　責任製劑　水野藥局

振替貯金口座　福島八八七六

◇破格の勉强で歡迎される

靜岡名産小笠銘茶　大角園　特約　半谷商店

平大町若松病院隣

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社

特約販賣　油問屋　關内商店

磐城平町　電話園一六六四〇

支店　郡山市驛前大通　電話園三二八

支店　茨城縣勝本驛前　電話園千湯七三

出張所　油槽所　平町四丁目郵便局前

内科　外科　小兒科　梅毒　淋病

平町　市原醫院　田町

電話一一四番

病氣政法

カイソネーチヤ療法の出現

海草蒸熱療法なるが故に從來の物理療法と異り各種病症に卓効あるは既に定評があります

論より証據あらゆる難病者は即時御實驗を乞ふ

特許中山式（平町大町電話三七一番）

カイソネーチヤ醫城分院

吉田五平

雨露に晒す程の強く烈しく煙突

「朝日」煙突は

石綿セメント製

朝日煙突

絶對にはぜない　やけない　くさらない

經濟的で火災の心配がない

金屋商店

サロンの黑ビール

レストランサロン

平町　電話三五二

内科　小兒科　入院應需

平町南町　大森醫院

醫學士　大森勇

電話二五八番

菊のカフエー　タヒラ（平町、驛前　電話六二〇）

食堂内に見事な懸崖ものと大輪もの十數鉢を飾つてございます

清い香り秀麗なる情景

居心地のよいソファー

晴やかな女給のサービス

ごゆつくりとお召下さいませ

女給さん募集名入用

清々しい食堂裝飾

こ日本間の新設備

平公園表坂前　のカフエー松ケ岡

一度お出で下されば皆樣に御滿足のお親みをキット頂け樣と思ひます

サービスのよい女給も揃へました

御調理もおいしくお安く致します

債券、公債、兩替、金融

多田井質店

平町大工町

電話五九一番